

NO 1	大崎市民病院本院建設事業	大崎市病院事業		
提案概要	東日本大震災の被災経験を活かして防災対策を再度見直し、再生可能エネルギー機器やコージェネレーション設備の採用によりエネルギー途絶のリスクを低減させるとともに、井水を活用して熱源システムの機器効率を向上させるなど、県北地域の基幹病院として省CO2と防災対策の融合を目指す。また、地場産のペレットを燃料とするボイラの導入など、省CO2を推進するとともに地域産業の活性化と復興支援に寄与する。			
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅・一般部門)
	建物名称	大崎市民病院	所在地	宮城県大崎市
	用途	病院	延床面積	47,871 m ²
	設計・施工者	【本院建設】戸田建設・久米設計・金原・古川土地・伸晃・二瓶・北陵・ABC宮城 特定建設工事共同企業体／【エネルギーサービス】ENAC・大建設計・銭高組グループ		
	事業期間	平成23年度～平成25年度		

概評	堅実な省CO2技術を導入しつつ、省CO2と防災対策の融合に取り組むなど災害拠点病院のモデルと呼ぶに相応しい提案であり、被災区域をはじめとする類似施設への波及性を評価した。自治体のバイオマス構想と連携して地場のペレットを活用するなど、地産地消を実践する取り組みについても、地域の活性化につながる提案として評価できる。
----	---

